

# 岡山県 社会福祉

おかやまけんしゃかいふくし

2023  
冬  
No.651



山本経営企画委員会委員長(右)から足羽会長(左)へ  
第7次計画の評価について答申

## 特集

### 第7次経営・活動計画の評価及び 第8次経営・活動計画の策定について

～「地域福祉の推進」に向けて5か年の岡山県社協中期計画を策定～

#### CONTENTS

県内市町村社会福祉協議会の取組レポート	— 4
県社協ニュース	— 6
赤い羽根共同募金	— 11
「ふくし」の仕事人たち	— 12



社会福祉法人  
岡山県社会福祉協議会  
URL: <http://www.fukushiokayama.or.jp>  
Facebook @fukushiokayama  
Instagram @okayamakenshakyo



# 第7次経営・活動計画の評価及び

# 第8次経営・活動計画の策定について

～ 「地域福祉の推進」に向けて5か年の岡山県社協中期計画を策定 ～

このたび、本会における向こう5か年（令和5～9年度）の具体的な事業展開や経営基盤の強化方策を示した「第8次岡山県社協経営・活動計画」（以下、「第8次計画」という。）を策定しました。

第8次計画では、「第7次岡山県社協経営・活動計画」（以下、「第7次計画」という。）で掲げた理念等を継続しつつ、経営と活動の2つの方針に再整理し、各推進項目を設定しています。また、特に本会として部署横断的な連携・協働を図り、重点的に取り組む内容を「重点的取組」として設定しました。

社協の使命である「地域福祉の推進」を果たすため、第7次計画の成果を踏まえたうえで、多様な主体との連携・協働による地域生活課題の解決に向けて、関係機関・団体との更なるネットワークづくりや地域の福祉力の向上に向けた人材育成を図り、各種取組を進めていきます。

今号では、第8次計画の概要について、ご紹介いたします。



## 第8次計画の策定にあたって

本会は、全社協福祉ビジョン2020に示されている「ともに生きる豊かな地域社会の実現」に向けて、誰もが住み慣れた場所であって、誰が住み慣れた場所であって、その人らしい生活を、共に、豊かに送るよう、多様な分野との連携・協働をさらに進めていきます。

これまで取り組んできた地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備など、地域住民はもとより、市町村社協、社会福祉法人・福祉施設・事業所、民生委員・児童委員、行政機関等、様々な関係者と連携・協働を図り、引き続き課題解決のための支援が求められています。

本計画の推進役となる本会職員においては、連携・協働を進めるための組織化のスキルなど、知識・技術の蓄積が必要であり、より一層コミュニケーションやリーダーシップ、スーパーバイズ能力の向上に取り組めます。

このような中、本会では、令和4年度末で実施期間を終了する第7次計画の成果・課題を整理し、法人経営に関する推進方策について、より専門的な見地から検討を

行う本会設置の経営企画委員会の協議・答申を経て、令和5年度からの5か年の中期計画として、第8次計画を策定しました。

## 第8次計画の体系

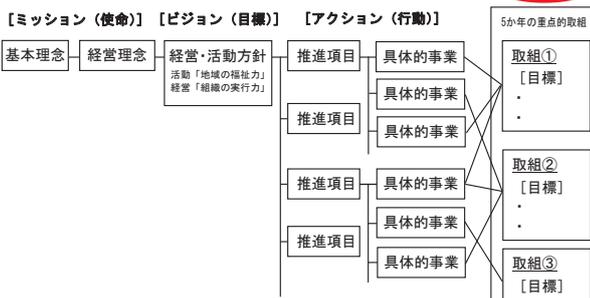
### 〈経営・活動方針〉

- ① 住民主体の地域福祉活動を支える基盤づくりを推進します
- ② 生活に関する包括的な相談・支援体制を推進します
- ③ 福祉サービス事業者を支え、質の高い福祉人材の確保・定着を推進します
- ④ 法人経営・運営組織の機能を強化します

## 第8次計画体系図

※SDGs(持続的な開発目標)との関連性を重点的取組へ明記。

### 【計画の概要】



計画推進期間：令和5年度～令和9年度の5か年

【重点的取組】

① コロナ禍で顕在化した支援を要する世帯に対する相談支援体制の強化を支援します

▼主な想定される取組

- ・地域福祉実践研修の開催
- ・生活福祉資金担当者研修会の開催
- ・生活困窮者自立支援実施機関・市町村社協連絡会議（仮称）の開催
- ・生活困窮者自立支援関係者研修会の開催
- ・市町村社協地域福祉推進委員会の開催
- ・貸付を通じた相談支援体制強化推進事業の実施 **\*新規**

② 市町村域における災害時福祉支援活動の展開を推進します

▼主な想定される取組

- ・災害支援体制行政・社協合同会議の開催
- ・災害時における協働の仕組み構築事業（モデル事業）
- ・災害支援担当者会議の開催 **\*新規**
- ・被災者見守り・相談支援研修の開催
- ・県災害福祉支援センター構想の検討

③ 福祉人材の定着・確保に向け、誰もが働きやすい職場環境づくりを推進します

▼主な想定される取組

- ・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程の開催（初任者・中堅職員・チームリーダー・管理職員）
- ・各階層の重点テーマ（人材育成・定着）研修の開催
- ・ストレスマネジメント（セルフケア）研修の開催 **\*新規**
- ・メンタルヘルス（ラインケア）担当者研修の開催
- ・すまいる宣言認証制度の実施

- ・人材定着促進事業（相談事業・人材定着促進セミナー等）の実施
- ・人事・労務管理実務研修の開催
- ・岡山県社協会長表彰等の実施
- ・すまいる宣言認証事業所等の働きやすい福祉職場の魅力や取組発信
- ・福祉紹介キャンペーン活動の実施
- ・各種事業（就職ガイダンス等）を活用した魅力発信の取組 **\*活用拡大**

本特集に際し、岡山県社協が定めた「第8次経営・活動計画」について、山本浩史経営企画委員長、水田健一常務理事にインタビューを行いました。



第8次計画についてインタビューの様子  
（左から水田常務理事・山本委員長・西原主査・米田主査）  
（※撮影時のみマスクを外しています）

●平成30年西日本豪雨災害やコロナ禍など、第7次計画実施時には、我々が予想もしなかったような事態が発生しました。そうした中で、新たに顕在化した福祉ニーズに対応することができるとは、第8次計画が策定されていますが、県社協に期待することを伺います。

また、顕在化している新たな福祉ニーズを個人の問題として捉えるのか、社会全体の問題として捉えるのかという視点も大切です。個人である県民に対しての関わりも、地域への関わりも大切であり、これからの県社協においては、この両側面を意識されることを期待します。

●第8次計画策定に当たり、県民の皆様特に伝えたいポイントはどの部分でしょうか。

県社協として目指すべき社会は、本計画に示しているとおり『地域共生社会の実現』にあります。

そのためには、県民の皆様と手を携え、一人ひとりが、できる範囲で協力をお願いできればと考えています。

第一義的には、どうすれば民間組織としての強みが出せるのかといった点、また、県社協自体が、「地域福祉の推進機関」であるため、どういった形であれば、岡山県の地域福祉を推し進めていくのかといった点が、まずは大きな役割であると考えます。

その中でも、住民の方と直接関わる事業と間接的に関わる事業、さらに、県社協が新たに拡充していく事業、直接実施する事業、間接的に携わる事業といった様々な形があるかと思えます。こうした多様な事業展開の波に対して、県内27市町村域ごとに異なる地域性をもってしている特性を、どのように見て対応していくのが基本的な部分として、まず県社協には求められるのだと考えます。

福祉専門職や民生委員・児童委員等の福祉関係者や各関係団体等が、福祉の制度・分野の枠組みを超えて『繋がること』で、今までは対応できなかった新たな地域課題を解決に導く一端になるのではと考えています。繋がり続ける・繋がり直すことがソーシャルワークの役割でもあり、お伝えしていきたいポイントでもあります。



## 県内市町村社会福祉協議会の取組レポート

### 早島町社会福祉協議会

# 「地域の福祉施設と連携し 対話型を取り入れた福祉教育実践」



早島町社会福祉協議会  
黒瀬主事

岡山県社会福祉協議会では、令和2年度～令和4年度に、多様な機関とのつながりや協働のもとで福祉教育のプログラムの展開を行っていく「多機関協働による福祉教育プログラム企画支援事業」を実施しました。

今号では、令和4年度に本会事業を活用し、地域の福祉施設と連携しながら参加者との対話に重きを置き、新たな福祉教育を行った早島町社会福祉協議会（以下、早島町社協）の取組をご紹介します。今回は、その取組に至った背景や経緯、内容、現在の状況等について早島町社協の黒瀬主事にお話を伺いました。

#### ——これまでの早島町社協の福祉教育の取組

これまで早島町社協では、出前福祉講座など小学生を対象とした福祉教育を中心に行ってきました。そのため、中学生や保護者の方などに向けて福祉教育を実施する機会がありませんでした。

また、小学校で行う車いす体験

や障がい者の疑似体験などの多くは、小学生にとって、普段の日常生活との関係が理解しにくい内容であったり、学びのスタイルが受け身（伝達型）になっていたりするなど、子どもたちが自ら福祉に関心を持って、主体的に取り組む場に展開する力が弱い現状がありました。

#### ——地域の福祉施設と協働

第2次地域福祉活動計画の策定において福祉教育の見直しを行っていく中で、今後は、子どもを中心とした福祉教育を行うだけでなく、その保護者や福祉関係者等を巻き込み、地域での継続的な学び合いの場をつくることが重要である



と感じました。そこで今回は、早島町内にある生活介護事業所「ぬかつくとこ（以下、ぬか）」と協働し、福祉教育プログラムの作成・実践を行いました。

はじめは施設見学のための体験と考えていましたが、ぬかの代表の中野厚志さんから「施設見学だけでなく、ぬかで開催しているイベントと一緒に参加してはどうか」とお声掛けいただき、ぬかびとさん（利用者）から、それぞれの特技・好きなことを活かした体験メニューの提案を受け、プログラムを実施することとなりました。

#### ——福祉教育プログラム当日の様子

当日は4名（中学生1名・保護者2名・教員1名）の方が参加され、事前学習・体験・事後学習の流れ

を基本に、「ふだんのくらしのしあわせ（以下、ふくし）」について当事者の方と交流をしながら考えていきました。

事前・事後学習では、一つの「問い」に対して、多様な考えや気づきを引き出していく対話型の福祉教育を意識して取り組みました。

参加者の方に、障がい者のイメージについて問いかけたところ、プログラム実施前では、「怖い」、「よくわからない」、「大変そう」との声が多く挙がっていました。体験後では、「居心地が良い」、「やさしい」、「おもしろい」などの声が挙がり、障がい者の方に対するネガティブなイメージがポジティブなイメージへ変化した様子が見られました。

対話型の福祉教育では、正解がないゆえに、考えることに難しさもあります。他の方々の考えや意見を聞いていく中で、新たな発見や気づきもたくさんあったかと思えます。

— 今後の取組について —

今回は、これまでにない新しい福祉教育の取組で、模索しながら

の実施となりましたが、今後は、これまでの成果や課題を踏まえながら、夏のボランティア体験事業など、他の社協事業とも連携し、継続して地域で福祉教育を展開していけるよう努力していきたいと思えます。また、ファシリテーションスキルや場の雰囲気づくりなど改善すべき点や課題もありますが、今回できたつながりやネットワークを大切にしながら早島町社協として、少しずつステップアップしていきたいと思えます。



【お問合せ先】

■ 社会福祉法人早島町社会福祉協議会

住所：都窪郡早島町前淵249-1

TEL：086148213000

令和4年度

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

# ボランティア活動保険

商品パンフレットは  
**コチラ**  
(ふくしの保険ホームページ)



## 保険金額・年間保険料（1名あたり）

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

保険金の種類	プラン			
	基本プラン	天災・地震補償プラン	【新設】特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
賠償の補償	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)	初日から補償	
	地震・噴火・津波による死傷	×	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	550円

\*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。



## ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

## 送迎サービス補償

(傷害保険)

## 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 ▶ **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)



## 平成30年7月豪雨災害における 「被災者見守り・相談支援事業」に取り組んで

### 岡山県くらし復興サポートセンター

本会では、岡山県行政からの受託事業として、平成30年7月豪雨災害で被災された方の生活支援・孤立防止のために、倉敷市・総社市行政が設置した被災者見守り・相談支援事業を実施するセンター（以下、市町村センター）の後方支援を目的とした「岡山県くらし復興サポートセンター」を開設しました。

#### ●現在の状況

被災された約6、200戸を対象に支援をし、ピーク時には3、415戸であった応急仮設住宅入居戸数は、令和5年1月末時点で5戸となりました。多くの世帯において住まいの再建が進んでいることがうかがえます。

しかし、地域生活上のさまざまな課題を抱えている世帯も多く、地域で見守り、支え合うことができるよう地域づくりと世帯への支援を継続しています。

#### ●果たしてきた役割

本センターでは、見守り連絡員・

相談員への研修や助言、支援機関・関係機関への働きかけによる新たなネットワークづくり、自治体連携会議による課題の解決などを通して、市町村センターを支援してきました。

被災者の生活再建支援は市町村行政が中心となるため、行政としての支援の考えや制度・政策についても意識することが求められました。また、社協の強みを活かした支援ができるよう、行政と社協の違いを理解し、被災者支援のパートナーとして協働していくことが必要でした。

社協は平常時から地域住民をはじめさまざまな主体の参加・参画や、関係機関との連携・協働の調整をする役割があり、その役割を災害時にも発揮することが期待されました。

#### ●今後へ向けて

発災から4年以上が経ち、被災世帯の住まいの確保が一定の区切りを迎えたことから、「岡山県くらし

復興サポートセンター」は令和5年3月末をもって終了します。

これまでの市町村社協における災害支援では、災害ボランティアセンターを通じた支援が中心でした。

そのため、平成30年7月豪雨災害においては、被災者見守り・相談支援事業が始まるまでの3か月のあいだ、被災により環境やそれまでのつながりが変化した世帯への生活支援が十分に行えませんでした。発災当初よりさまざまな生活課題を抱えた被災者へ支援をする必要があります。

今後は生活支援の観点を踏まえ、災害発生から日常生活に戻るまで、切れ目のない福祉的支援が展開できるよう、県域の団体として市町村域における災害福祉支援活動を推進していきます。

【お問合せ先】

岡山県くらし復興

サポートセンター

TEL..086-1226-12830



### ◆ ◆ ◆ 事業報告シンポジウムのご案内 ◆ ◆ ◆

**目的** 本センター事業において見えてきたのは「災害時にも平常時にも切れ目なく世帯全体を支える包括的な支援体制」と「多様な支援主体との連携・協働の基盤づくり」の必要性でした。シンポジウムにより県内・全国の支援者の皆様と、今後の支援体制の整備について検討をいたします。

**日時** 令和5年3月3日（金）13:00～17:00

**会場** 国民宿舎サンロード吉備路 コンベンションホール「雪舟」（総社市三須825-1）  
※詳細は「岡山県くらし復興サポートセンター」ホームページをご覧ください。

社会福祉法人の協働による地域公益活動が広がっています

●社会福祉法人への期待

コロナ禍において経済的困窮に加え、つながりの変化による社会的孤立の深まりが顕在化し、地域生活課題の複雑化・複合化は一層深刻化しています。

これらの課題解決には、生活の拠りどころである「地域」を基盤として、人と人とのつながりづくりと一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮せる地域づくりが重要です。

社会福祉法人も地域社会の一員として、「地域公益活動」の実践を通じて、地域生活課題（地域の困りごと）と向きあい、役割を発揮していくことが期待されています。

●市町村域ネットワークについて

本会では、市町村域の社会福祉法人等のネットワークを基盤とした地域公益活動の実践を推進、支援しており、社会福祉法人・福祉施設等と社会福祉協議会（以下「社協」という。）の分野を超えた連携、協議の場は、平成30年時点で7圏域でしたが、令和5年1月には20圏域・21市町村になりました。

●取組状況～市町村域ネットワーク調査（R4年10月）から

「緊急一時的な食料支援」に15圏域で取り組まれています。『ふくしネットそうじゃ』（総社市）では、おかやまコープ・総社市生活困窮者支援センターと共催により、おかやまコープ店舗でフードドライブを実施しています。また各法人にフードパントリーを設置し、集まった食料を生活困窮者等へ提供する取組も進めています。活動の見える化により住民の参加を得て福祉への関心にもつながっています。



ふくしネットそうじゃ「フードリンクプロジェクト」のフードドライブ

「地域の防災・減災活動支援」も関心の高い取組です。『玉野市社会福祉法人ネットワーク協議会』では、発災時に自治会・町内

会等へ資機材の貸出を行えるよう中学校区7か所の社会福祉法人に「災害用資機材ストック（倉庫）」を設置しています。今後は設置工リアごとに地域住民組織と防災訓練等も行う予定です。



玉野市社会福祉法人ネットワーク協議会「災害用資機材ストックヤード」

市町村域ネットワークで感じている成果・効果として「地域の他の社会福祉法人との交流が広がった」がもつとも多い回答でした。

『新見市社会福祉法人連絡協議会』では、地域生活課題を知り、今後の取組を考える機会とするために職員研修会が実施されました。

社協と社会福祉法人・福祉施設の職員が、それぞれの専門性を学び合い、ともに地域生活課題の解決に取り組むことを通じて育ち合うことはネットワークで協働していく目的の一つと言えます。

他のネットワークでも地域の

ニーズに対応した地域公益活動の実践が進められています。



新見市社会福祉法人連絡協議会 オンラインを活用した研修会

●協働による取組の今後の発展に向けて

現在の活動継続も大切なことですが、改めて実施した活動を振り返っていくと、その意義を再確認できます。また、そこで明らかになった課題から次の取組を企画するPDCAサイクルに基づく展開により、協働の取組を更に発展させていくことが期待されます。本会もPDCAサイクルに基づく展開を具体的に考える機会を提供する等、社会福祉法人等の協働の取組が住民の理解と参画のもと「地域づくり」へ広がっていくよう引き続き支援していきます。

【お問合せ先】

地域福祉部地域支援班  
TEL:086122612835



## 学生の福祉職場アルバイト募集事業

### 岡山県福祉人材センター

令和3年7月より、岡山県内の施設・事業所等でアルバイトを募集している事業所をとりまとめ、その情報を岡山県福祉人材センターホームページに掲載しています。本事業はアルバイトを募集している事業所と福祉の仕事に関心を持つ学生等に福祉施設でのアルバイトを紹介することで、福祉への関心を高めることやコミュニケーション能力の向上、また福祉の職場の魅力や仕事内容を理解してもらう機会を提供することを目的としています。

仕事の内容は、高齢者・障害者（児童）施設での食事の準備、介護（支援）や活動の手伝い、事業所内の清掃、玩具消毒や園庭の清掃など学生の希望に合わせてアルバイトの時間を調整しています。

□事業所では、学生に専門職の仕事や職員と一緒に働きながら経験してもらえようアルバイトを募集しています。

アルバイトに応募された大学3

年生は、「学校生活や授業では体験できない実際の施設でしか学べないこと、実態を学ぶことができません」「卒業するまで続けたいです」との感想があり、今しかできない経験を施設の職員等から学ばれています。

本会では、多くの学生、また保護者の方へ福祉の職場の魅力や仕事内容を理解していただけるよう関係機関と連携し、福祉人材確保に努めていきます。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

■ご不明な点は、岡山県福祉人材センターまでご連絡をお願いします。

TEL: 086-2226-13507



学生の今だから経験できること

福祉・介護施設 学生アルバイト 募集中!



## 福祉の労務管理は福祉の社労士にお任せください!

労務管理で困っている

- ・就業規則の見直し
- ・人材育成
- ・人材定着
- ・助成金の活用
- ・セミナー講師
- ・業務の効率化

**Ai あい社会保険労務士法人** ☎0863-81-5634



特定社会保険労務士 佐藤起世子  
〒706-0024 玉野市御崎 2-3-13

あい社労士法人 検索

<http://aisr.or.jp/> メルマガ募集中!  
メルマガはHPからお申し込みください。



観光庁長官登録旅行業第55号  
(社) 日本旅行業協会正会員 bonds保証会員  
岡山市幸町8-29 大樹生命岡山ビル9階

TEL: 086-225-2771 Fax: 086-225-7494 担当: 中西・深井・三鬼

☆国内・海外を問わず、安全で快適な旅行をしたい!

☆日帰り豪華な食事がしたいんだけど、どこが良いかな?

☆予算がないんだけど1泊2日でどこか行きたいな~!

☆個人で出張や家族旅行で切符やホテルの手配が必要なのですが...

旅行の事ならなんでもご相談ください。様々なご相談、見積、手配もいたします。



【2月18日(土)開催】  
福祉の就職総合フェア  
第3回 冬(70法人参加)

岡山県福祉人材センターでは、福祉・介護分野の就職フェアを2月18日(土) 12時〜岡山コンベンションセンターで開催します。

すまいる宣言法人を含む70法人が出展される個別面談会では、1日で多くの採用担当者に直接話を聞くことができ、ご希望の方には施設見学や面接予約も可能です。

また、会場内の就職相談コーナーでは、福祉・介護のお仕事相談など専門職に無料で相談ができます。

その他、すまいるセミナーとして、講義「介護福祉業界の未来について」、すまいる宣言法人の魅力紹介1分間プレゼンを開催しますので、面談会前にご参加いただくことで情報収集ができます。

福祉・介護の仕事を考えている学生、一般、転職を考えている方、福祉職場未経験の方など初めてでも安心してご参加いただけます。皆さまのお越しをお待ちしております。詳しくは、就職フェアWEBサイトを、ご確認ください。

2023年版岡山県福祉手帳のご案内

県内の福祉施設・団体名簿(住所・電話番号)や社会福祉法令等を掲載した「岡山県福祉手帳」を販売しています。福祉関係者はもちろんのこと、福祉関係者と連携・協働した事業や取り組みを考えている企業・団体等の皆様にも広くご活用いただける内容となっています。ぜひこの機会にお買い求めください。

- ◆ 規格 横85mm×縦144mm/カバー仕様
- ◆ 価格 660円(税込) ※県社協会員は送料無料。

<問い合わせ先>

岡山県社会福祉協議会 総務企画部

TEL: 086-226-2822 <http://www.fukushiokayama.or.jp/about/book/>



◇ご不明な点は、岡山県福祉人材センターまでご連絡をお願いします。

TEL: 0861222613507



どこよりも解りやすい 指導監査の個別指導!

経営幹部の方 / 経理・事務スタッフの方

- Q 役員選任には監事の同意が必要?
- Q 監事は評議員会に出席する義務があるの?
- Q 賞与引当金は必ずしなきゃだめなの?

悩み・疑問を一斉解決!

- 急な指導監査でも...
- ・慌てない
- ・困らない
- ・揉めない



SCB社福サポート担当 いしはら

株式会社 創明コンサルティング・ブレイン SCB 公認会計士・税理士 宮崎 会計事務所

☎ 0120-747-824

受付時間 9:00~17:30(平日)

〒702-8002 岡山県岡山市中区桑野713番地10 [HP] <http://www.ssc-scb.com>

お車の共済のことなら! 西日本自動車共済協同組合

お見積り、事故のご相談、すべて無料! お気軽にご連絡下さい。



岡山県支部 〒700-0927 岡山市北区西古松 237-126 松本ビル3F TEL086-246-3355 FAX086-246-3375

【本部】福岡市博多区東比恵 2-15-25 TEL: 092-441-5901

NJ730.2103.0213.999999

- 各種広告看板・各種インクジェット出力・POP ●

美術工房



(公財) 全日本広告連盟加盟 岡山県屋外広告美術共同組合会員

TEL086-271-4410(代) FAX086-271-4412

〒703-8251 岡山市中区竹田17-13



## 第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会 「ねんりんピックかながわ2022」に参加しました

全国の60歳以上の方々を対象としたスポーツと文化の祭典である「ねんりんピック」が令和4年11月12日から15日まで、3年ぶりに神奈川県にて開催されました。

10月25日に開催した岡山県選手団の結団壮行式には各チームの代表者が集結し、岡山県旗を受け取り、健闘を誓いました。



岡山県選手団 結団壮行式

11月12日に横浜アリーナにて開催された総合開会式では、代表者5名が入場行進を行い、選手団は、紹介に合わせて桃色のスクーフを振って岡山県をPRしました。



▲代表者5名の入場行進



◀観客席での岡山県のPR

今大会はねんりんピック初開催となるスポーツチャンバラを含めた32種目の交流大会が神奈川県内の26市町で開催されました。

岡山県からは22種目に148名の選手が参加し、全国から集まった参加者と熱戦を繰り広げました。各会場では、日頃の活動の成果を発揮するとともに、他県の選手との交流や、試合終了後の観光等を楽しむことができました。いくつかの種目の交流大会の様子をご紹介します。



将棋



スポーツチャンバラ



ソフトボール



サッカー



ターゲット・バードゴルフ



弓道



軟式野球



ウォークラリー

岡山県では6種目において3位以内に入賞する等、今年も上位入賞を成し遂げました。

また、卓球では山下雅幸さん(87歳)が、囲碁では佐野久仁子さん(92歳)が各種目での最高齢者賞を受賞しました。

次回は愛媛県にて開催されます。大会の成績や過去の参加状況については本会ホームページ「高齢者の健康・生きがいづくり/ねんりんピック」をご覧ください。

【お問合せ先】

地域福祉部

長寿社会推進センター

TEL・086122612835





# 赤い羽根共同募金

岡山県  
共同募金会

## 歳末たすけあいへのご協力ありがとうございました

新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるようにと、12月に全国一斉に歳末たすけあい運動を実施しました。

また、12月22日には、岡山駅西口のひかりの広場（リットシティビル内）にて「NHK歳末たすけあい配分交付式」を開催し、福祉関係団体及び障がい者福祉施設（合計15団体・施設）に対し、総額295万円の配分決定通知書を交付しました。

温かいお気持ちのこもった募金を数多くお寄せいただき、誠にありがとうございました。



12/1  
NHK歳末たすけあい  
オープニング



12/22  
NHK歳末たすけあい  
配分交付式

## 「地域ささえあいプロジェクト」は2月28日まで

今年度も、赤い羽根共同募金「地域ささえあいプロジェクト」を実施いたします（2月28日まで）。

本プロジェクトは、地域の様々な福祉課題の解決に取り組んでいるNPO法人等と協働して、課題解決の必要性を広く県民の皆様にアピールしながら、NPO法人等の活動に必要な資金を募集するものです。

プロジェクト参加団体の活動にご賛同いただける方は、各団体専用の払込取扱票により、ゆうちょ銀行または郵便局の窓口にてお振込みをお願いします。（手数料・硬貨取扱手数料無料）

なお、払込取扱票は各プロジェクト参加団体または岡山県共同募金会（TEL：086-223-0065 / MAIL：info@akaihane-okayama.or.jp）に用意していますので、お問い合わせください。皆様の温かいご支援、ご協力をお願いします。

**資金ボランティアとしてご協力をお願いします。**

24時間365日いつでもどこでもかけられる相談電話、**年間1万円**の手軽な継続支援で、**赤い羽根共同募金 岡山1のちの電話**です。  
ボランティア継続員を支えるのは、いかに大切かと思う赤い羽根の心とご縁です。  
人々の助け合いで、支えあひ助けあひするご縁こそ、私たちと一緒に支えてください。  
ご協力をお願いします。

共同募金人 **岡山1のちの電話協会 事務局**  
〒730-0881 岡山県北区内山崎 1-1-1 TEL:086-245-4344 FAX:086-245-4343  
ホームページもご覧ください。http://okayama-inochi.jp/

岡山1のちの電話 086-245-4344 (086) 245-4344

岡山1のちの電話協会  
TEL：086-245-4344

赤い羽根共同募金「地域ささえあいプロジェクト」

被害者サポートセンターおかやま  
086-226-7511

被害者サポートセンターおかやま  
TEL:086-223-5564 FAX:086-201-5564

被害者サポートセンターおかやま  
TEL：086-223-5564

3日間で4人の子どもの命を救う国、日本。  
子どもの気持ちを受けとめ、心を支え続ける  
チャイルドラインおかやまにご支援ください。

チャイルドラインおかやまは2001年から「3日間で4人の子どもの命を救う国、日本」を目標として活動しています。

2021年度の集金目標額  
**2,115万円**

NPO法人チャイルドラインおかやま TEL:086-956-3700

チャイルドラインおかやま  
TEL:086-956-3700

**子どもシェルターモモ**

困難を抱える子ども・若者の支援を幅広くしていくためには、支援を行う施設、ボランティアスタッフが増えることが、法人活動の重要な課題です。また、支援の質を向上させるためには、スタッフの研修やスキルアップが不可欠です。法人として活動する子どもシェルターモモは、こうした課題を解決するために、様々な取り組みを行っています。

子どもシェルターモモ  
〒730-0881 岡山県北区内山崎 1-1-1 電話: 086-206-2423

子どもシェルターモモ  
TEL：086-206-2423

「困った時はかかるとも」ではじめの互助システム

**ふれあいたすけあいサービス事業**

助けあって、助けられて、助け合おう！

このすてきなシステムを、あなたの地域とあなたがかかるともで、次につなげていってください。

ふれあいたすけあいサービス事業部  
岡山県北区内山崎1-1-1 TEL:086-63-4970

ハーモニーネット未来  
TEL：0865-63-4970

一般社団法人 子どもソーシャルワークセンター つばさ

「困った時はかかるとも」ではじめの互助システム

子どもたちの困りごとや悩みを解決し、自立を支援するための活動を行っています。

子どもソーシャルワークセンター つばさ  
〒730-0881 岡山県北区内山崎 1-1-1 電話: 080-2903-6612

子どもソーシャルワークセンターつばさ  
TEL：080-2903-6612

**やってみよう!!**

子どもたちの「やってみよう!!」が実現できる自由な遊び場、おがやまフィールドの緑も広げてほしい。

NPO法人 岡山市子どもセンター 〒730-0844 岡山県北区内山崎 1-1-1 TEL: 086-242-1810

岡山市子どもセンター  
TEL：086-242-1810

どんな時も絆を伝えるために...

子どもたちへ贈る、絆を伝えるための活動を行っています。

CAPプロジェクトおかやま  
〒730-0881 岡山県北区内山崎 1-1-1 TEL: 086-221-9988

CAPプロジェクトおかやま  
TEL：086-221-9988

「ふくし」の仕事を  
— vol.58 —  
仕事人たち



株式会社 創心會  
本社 品質管理部長  
坪井 美由樹 さん

## 【 ふくしとは — 共感し 自分を整え 共に創造すること 】

### 現在の仕事に就いたきっかけは？

高校生の時に、友人の誘いで福祉施設のボランティアに参加して、施設の寮母さんから『これからは高齢者福祉が重要になってくるよ。必ず役に立つよ。』と勧められたことがきっかけでした。

### 仕事をしていて印象に残っている出来事は？

養成校で介護福祉士を取得し、老健に3年間勤めた後、ヘルパーとして再就職しました。経験の乏しさから家事サービスに苦戦をして、大きな挫折感を覚えていた頃のことです。ある利用者様のケアに、多職種連携チームの一員として関わることになりました。私の仕事は、『利用者様とのコミュニケーション』が中心でした。利用者様は四肢麻痺で、気管切開に加え、顔も浮腫んでいました。そのため当時の私には、意思表示を理解することさえ困難でした。毎日5時間程度の訪問で、とにかく試行錯誤の連続でした。息子様から浪曲が趣味だったと伺って、藁をもすがる思いで近所の人にカセットテープを借りて持参したこともありました。そして、一か月が経過する頃、意思表示が理解できるようになってきました。ある日、春を感じていただこうと思い、ご家族と一緒に散歩に出て『お日様が暖かいですね。久しぶりですか?』と利用者様に声をかけると、なんとも言えない笑顔の

後、涙を流し、深くうなずかれたのです。その笑顔を見た瞬間、泣いているご家族を見て、私も涙を堪えることができませんでした。病気や障害を負った当事者のつらさを日々支えているご家族にとって、当事者の喜びは、何にも代えがたいことなのだ学びました。愛情深いご家族との出会いから、様々な在宅介護の現場に寄り添い“本当に必要とされるケアとは何か”について仲間と共に追求しています。

### この20年間の自身の変化について

訪問の仕事を通じて、自身の未熟さを知り、利用者の様々な「生き様」に触れ、自身の在り方を考えるようになりました。職場では、事業所の立ち上げに関わり、大勢のスタッフや関係者と関わることが増え、特に失敗から学ぶ機会に恵まれました。私の変化は、気持ちの切り替えが、とても早くなったことだと思います。大変と感じる体験こそ、後で役立ちます。どんなことも積極的に取り組めば、自ずと楽しく感じるようになりました。

### 仕事をする上で大切にしていることや今後の目標など

自分に余力をつくるのが大切だと思います。専門職として、より多くの人と共感し、多職種連携、地域の方々と協力して、みんなが笑って過ごせる地域づくりに貢献したいと思っています。



機関紙「岡山県社会福祉」へのご意見・ご感想をお寄せください！

ご意見・ご感想をいただいた方の中から3名様にももるんじゃーグッズをプレゼントします。

機関紙へのご意見・ご感想、住所、氏名、年齢をご記入の上、下記までお送りください。

■ 郵 送：〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ3階  
岡山県社会福祉協議会 広報担当者会議

■ FAX：086-227-3566 まで

なお、当選の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

